

ポイント

◆◆特集◆◆

★「道路法等の一部を改正する法律」の概要について★

(国土交通省 道路局 路政課／国土交通省 道路局 高速道路課)

平成26年6月4日に交付された「道路法等の一部を改正する法律」について紹介する。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★立体道路制度について★

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

今回改正された立体道路制度について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★立体道路制度を活用した環状第2号線の整備★

(環状第二号線新橋・虎ノ門地区市街地再開発事業)

(東京都 都市整備局 市街地整備部 再開発課)

環状第2号線は、神田佐久間町と有明を結ぶ総延長約14kmの都市計画道路で、都心部の渋滞解消や、臨海部とのネットワーク強化を図るうえで、極めて重要な路線です。

本報告では、環状第2号線のうち、東京都が立体道路制度を適用し、市街地再開発事業により整備を進める新橋・虎ノ門間について、事業の特徴である立体道路制度適用の背景や特徴をご紹介します。

★「道路ふれあい月間」における道路愛護団体等の国土交通大臣表彰について★

(国土交通省 道路局 総務課)

国土交通省では「道路ふれあい月間」(8月1日～8月31日)に当たり、多年にわたり道路愛護思想の普及等に功績のあった民間の団体または個人に対して、感謝状を贈り表彰することとしています。

本稿では、平成26年度に表彰された96団体96件、個人9名9件について紹介します。

◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

★圏央道（相模原愛川IC～高尾山IC）開通に伴う整備効果について★

（国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所 計画課）

平成26年6月28日（土）15時、首都圏中央連絡自動車道（以下、圏央道）の相模原愛川ICから高尾山IC間の延長14.8kmが開通しました。本稿では、当該自動車道の開通に伴う整備効果についてご紹介します。

.....

★三重県における道路の維持管理について★

～舗装・橋梁等の老朽化対策、メンテナンス体制の構築、道路啓開対策の推進～

（三重県 県土整備部 道路管理課）

三重県では、道路ストックの老朽化を原因とした事故等を未然に防止するため、長寿命化対策や県内道路管理者が連携したメンテナンス体制の構築に取り組んでいます。また、今後、発生が懸念される東海・東南海・南海地震に伴う津波被害に備えた道路啓開事業を進めており、これらの取り組みについて報告します。

.....

★伊勢神宮周辺における交通渋滞対策の取り組みについて★

（伊勢市 都市整備部 交通政策課）

伊勢神宮周辺では式年遷宮に向けて観光客が増加傾向となり、市内道路において休日を中心に観光交通による渋滞が発生し、観光客のみならず市民の生活環境にも支障を来す状況でありました。このため、関係団体で構成する伊勢地域観光交通対策協議会を発足させ、交通需要マネジメント（TDM）による対策を実施し、大きな効果をあげることができました。

◆◆編集後記◆◆

夏の風物詩のひとつに、甲子園球場で開催される全国高校野球選手権大会があります。白いボールを懸命に打ち、追いかける高校球児たちの姿に、毎年心が熱くなります。全国47都道府県で地方大会が行われ、49代表校（北海道は南北、東京都は東西。）のみ、甲子園の切符を手にすることができます（参加校数は全国で約4,000校）。だからこそ、1球1球に気持ちが込められ、今もなお語り継がれる名勝負など、記憶に残る試合がたくさん生まれてきたのでしょう。今回大会は、台風の影響で2日遅れての開催となりました。開幕が2日も遅れたのは、96回の歴史の中で初めてのこのようです。

舞台となる甲子園球場が完成したのは、十干の最初の「甲（きのえ）」と、十二支の最初の「子（ね）」が60年ぶりに出合った大正13年8月1日とのことでした。縁起のよいこの年にちなみ、この付近一帯を「甲子園」と呼び、また、その地に完成した野球場を「甲子園球場（当時は大運動場）」と名付けることとされました。内野スタンドと外野席の間にある応援席はアルプススタンドと呼ばれ、各校の応援団が懸命に応援している姿が印象的です。アルプススタンドは、昭和4年の夏、入場者の増加に伴って増設された応援席で、白いシャツの応援団で埋め尽くされている様子を見た漫画家が、「ソノスタンドハマタ素敵ニ高ク見エル、アルプススタンドダ、上ノ方ニハ万年雪ガアリサウダ」と、新聞に漫画を掲載して以降、「アルプススタンド」と呼ばれるようになったといえます。

先日、有名校の野球部の高校生と同じ車両に乗り合わせました。練習後の反省やゲームの話など、それぞれがたくさん荷物を床に広げ、ワイワイガヤガヤと大騒ぎしていました。それを見かねた年配の男性が、静かな声でその高校生の一人に話しかけはじめると、不思議と、皆一様に礼儀正しい高校生に戻っていきました。よく、今どきの若者に注意すると何をされるかわからず怖いということが取りざたされますが、その高校生たちは、その男性の話をととても素直に聞き入れ、素直に受け止めて反省をしているようでした。改めて、スポーツは、心をも鍛え育てるものであることを確認できた出来事でした。

私の母校は軟式野球部しかなく、甲子園で戦う高校生をみると、羨ましく思えてなりません。残りの日程も少なくなりましたが、全力を出し切り、悔いのない戦いであるとともに、それぞれの思い出に残る戦いであることを願い、観戦を楽しみたいです。(U)